

小樽まちづくりファンドのための支援者形成プロジェクト

プロジェクト代表者: 江頭 進

1. プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトは、小樽市に存在する歴史的建造物を保存・活用するためのクラウドファンディング(以下、CF)による資金調達システムをPRし、支援者層を形成するためのプロジェクトである。

小樽市内に存在する歴史的建造物は町の景観を構成し、また観光や教育の資源となっているという点で公共財的性格を持っている。その反面、それらの歴史的建造物は、個人所有のものが多く、莫大な維持管理費用はすべて所有者個人が負担しており、それに耐えきれず取り壊される建築物も少なくない。本プロジェクトは小樽市民の公共財である歴史的建造物の保存・活用の費用を広く市民に負担してもらうためのCFのPRを行うためのパンフレットを作成するものである。

他方で、歴史的建造物を保存・活用するためには莫大な費用が必要であり、小樽市民とその関係者だけでは十分な資金を用意できない。そこで小樽を訪れる国内外からの観光客に対して、本CFの意義を説明し、小樽ファンを形成し、固定的な寄付者層の形成をめざすものである。

2. プロジェクトの進捗状況について (～H29.10)

パンフレットは市民、日本人観光客向けの日本語版と外国人観光客向けの英語、中国語版を作成する予定である。平成29年7月には、日本語版がほぼ完成した。

9月5日にはゼミ生がMatching Hub 小樽に参加し、CFに関するブースを出展している。

パンフレットの作成と同時に、CFの第一号案件として、小樽市が所有する旧寿原邸の庭園修復工事を選び、管理者である小樽市建設部と打ち合わせを重ねていた。両者の細かい擦り合わせをほぼ終えて、後は契約とパンフレット用の旧寿原邸の写真を撮影するだけというところまでこぎ着けていたが、10月末に突如小樽市より、「これまでの話はなかったことにしたい」と連絡を受けた。理由の説明を求めたが「時期尚早」と言われ単に謝罪を繰り返されるだけで、旧寿原邸庭園工事の案件は中止となった。

そこで、すぐに第一号案件として、今冬の歴史的建造物の雪下ろし費用の支援に切り替え、日本語版パンフレットのデザインを完成した。



3. 今後の取組予定について

現在は、英語版、中国語版のパンフレットのデザインを作成中であり、12月には完成・市内観光案内所などで配布予定である。CF本体(<http://www.ega-o.org/cf/>)は、決済会社の選定がクレジットカード会社の審査がCFに対して厳しくなっていることもあり難航したが10月になってCoiny株式会社に決定した。



現在、市内の歴史的建造物の複数の所有者に声を掛けているところであるが、本年度の降雪の状況がまだ未確定なので、具体的な案件が決まっていない。これも12月中には見通しを立てる予定である。